

令和6年度教育研究活動報告書

氏名	稲川 豊	所属	芸術文化学部美術学科
学位	修士 (MA FINE ART)	職位	准教授
専門分野	絵画／コンテンポラリー・アート		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	デッサン基礎実習、総合基礎実習、構成実習、油画実習1、油画実習2、油画実習3 空間造形論、古美術研究演習、卒業制作、美術表現入門
大学院	油画研究ⅠB、油画研究ⅡB、絵画総合演習
II 研究活動	
現在の研究テーマ(3つまで)	
(1) アーティスト・キュレーターによる交差的場の力学の創出	
(2) ポスト・インターネット時代の文化的圧縮と更新された崇高(Contemporary Sublime)について	
(3) 美術における作為の周辺領域とその可能性について：創造的再定義へのアプローチ	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R6・R5・R4	
R6 〈展覧会・プロジェクト企画〉 「奇数ソックスとノード / Nurturing Nodes in the Nook of an Odd Sock」 英国、香港、シンガポール、韓国、中国、コロンビア、ドイツ、日本出身のアーティスト19組が参加する国際企画展とグローバルネットワークプロジェクトを「アーティスト・キュレーター」という中間領域的立場から企画、廿日市市のアートギャラリーミヤウチを会場に実施した。	
R6 〈展覧会・アーティスト、イン・レジデンス企画〉 「岸む音 / 際の上 Murmuring Shores / On the Brink」 MOU 尾道市立大学美術館 / 尾道 (co-curated with Dr. Wang Ruobing) シンガポール人アーティスト3名、本学教員西村有未に卒業生2名 を加えた日本人アーティスト3名の合計6名によるグループ展を大学美術館で開催した。シンガポール芸術大学の教員のワンルオピン博士との共同キュレーションとして企画、展覧会開始前にはシンガポール人アーティスト3名を招聘し、滞在制作してもらい展示作品を新たに制作してもらった。	
R6 〈口頭発表／＊英語で実施〉「NNNOS @1983: Palate MIX」 香港のディスカッションに特化したアートスペース「1883」で自身が企画、立案、実施した「奇数ソックスとノード / Nurturing Nodes in the Nook of an Odd Sock」の背景にあるコンセプトなどを紹介した。	
R6 〈口頭発表／＊英語・日本語のバイリンガルで実施〉「TALK SESSIONS：存 / 依 / 鳴 / 栄 / 創 / 有 / 酌」バックグラウンドが違う4カ国からの参加アーティストを中心に、「共存」「共依」「共鳴」「共栄」「共創」のトピックから議論を深め、ネットワーク構築の可能性を探っていく試み。「奇数ソックスとノード / Nurturing Nodes in the Nook of an Odd Sock」展の関連企画。 2024年4月20日(土) 10:30-18:00 (スピーカー・モデレーター) 2024年6月8日(土) 15:30-19:00 (スピーカー) 2024年6月15日(土) 10:30-14:00 (スピーカー) 2024年6月16日(日) 13:30-17:00 (スピーカー)	
R6 〈口頭発表／＊英語・日本語のバイリンガルで実施〉 2025 / 12 / 15 「岸む音 / 際の上 Murmuring Shores / On the Brink」の関連トークセッションとして、シンガポール人アーティスト3名、日本人アーティスト3名、シンガポール人共同キュレーターとともに登壇、企画者として企画コンセプトや実施にあたってのさまざまな経験を共有した。	
R5 〈プロジェクト〉 Re-De、令和6年3月、尾道、イギリスのロイヤルカレッジオブアートの教員、Gary Clough と Kyung Hwa Shon と、小野環教授と本教員の合同プロジェクトの第2弾として、小野環教授とロンドンRCAを訪問、現地でレクチャーとワークショップをそれぞれ開催した。また、RCAの教員たちや、現地のキュレーター、アーティストへの聞き込み、展覧会視察を行った。	
R5 〈展覧会-グループ展〉 I don't know what I want, but I want it NOW!、令和5年11月、Art in Perpetuity Trust (APT)、ロンドン、英国Alma Tischlerwood氏がキュレーターを務めるグループ展に選出、サテンプリントを使った作品を複数出品した。	
R5 〈展覧会-グループ展〉 ART LOUNGE PROJECT #3、令和5年8月、Le Mette Adeline、岡山 絵画と立体のインスタレーション作品を発表した	
R5 〈展覧会-個展〉 Speak Spindle、令和5年7月、Comma Space、シンガポール展覧会会期中、アーティストトークを開催した	
R5 〈国際アートフェア〉 Tokyo Gendai、令和5年7月、パシフィコ横浜、横浜新しく始まった、国際アートフェアに香港のギャラリー-Galerie du Mondeから絵画作品一点と、サテンプリントの作品一点、写真作品一点の3作品を出品。	

令和6年度教育研究活動報告書

氏名	稲川 豊	所属	芸術文化学部美術学科
学位	修士 (MA FINE ART)	職位	准教授
専門分野	絵画／コンテンポラリー・アート		

<p>R4 〈展覧会-個展〉 Fluxosphere、令和5年3月、UUH OOH、香港 〈展覧会-個展〉 符と遊ぶ eASY mECHANISM、(個展/尾道) 令和4年11月-令和4年12月、MOU 尾道市立大学美術館 〈アーティスト・トーク〉 尾道市立大学美術館での個展「符と遊ぶ eASY mECHANISM」の関連イベントとして、広島市現代美術館キュレーター角菜穂子氏をモデレーターに迎え、アーティストトークを実施した。</p>
<p>R4 〈プロジェクト〉 Re-De、令和4年7月、尾道、イギリスのロイヤルカレッジオブアートの教員、Gary Clough と Kyung Hwa Shon と、小野環教授と本教員の合同プロジェクトの第一弾として先方の2名を尾道に招集、ワークショップやレクチャーを実施</p>
<p>R3以前の主な研究業績</p>
<p>(1) 〈展覧会〉 R3 「Painters + Collection」、令和3年6月-令和3年10月、なかた美術館、尾道、概要：絵画、ドローイング、立体作品を使用したインスタレーション作品「Read & Wear」を発表。</p>
<p>(2) 〈口頭発表／*英語で実施〉 Staffordshire University、ストック・オン・トレント、イギリス(オンライン)</p>
<p>(3) 〈口頭発表／*英語で実施〉 Tonbridge Art School、ケント、イギリス(オンライン)</p>
<p>(4) 〈オンライン・トーク／*英語で実施〉 Say to Day Conversation、(オンライン・トーク) 二人のキュレーター Ying Kwok (シニアキュレーター Tai Kwun, 香港) と Melanie Pocock (キュレーター、Ikon Gallery, イギリス) との対話</p>
<p>(5) 〈執筆／*英語〉 「Yutaka Inagawa on Shooshie Sulaiman」、共著、Collected Writings By Artists on Artists (出版: Cobo Social International Co.ltd.) 概要：22人のアーティストが、それぞれ自分以外のアーティストについて自由なスタイルで執筆。尾道で長期に渡り滞在制作を行うマレーシア人アーティスト、Shooshie Sulaimanについての詩的創作を寄稿した</p>
<p>(6) 〈アーティスト・イン・レジデンス〉 R2 Slade アーティスト・イン・レジデンス(滞在制作/リサーチ)、Slade School of Art (UCL)、ロンドン、概要：ロンドンの美術大学 Slade School of Art でヶ月間のアーティスト・イン・レジデンスに参加した。</p>
<p>(8) 〈オンライン展覧会〉 Beyond This Point (主催:SKEUKO)、概要：SKEUKOはイギリス人アーティスト James Thornton が立ち上げた期間限定オンライン・プラットフォームである。「Beyond This Point」は Angel Greenham / 工藤礼次郎/稲川豊の作品をフィーチャーしたオンライン展覧会である。</p>
<p>(9) 〈オンライン・プロジェクト〉 Say to Day (キュレーター Ying Kwok)、概要：学長裁量研究費の助成を受け、デジタルアーキテクチャとして特設ウェブサイト及びインスタグラムを利用した多言語プロジェクトを実施した。</p>
<p>(10) 〈展覧会〉 オンリー・コネクト・オオサカ、平成31年2月 企画/出品、会場：クリエイティブセンター大阪 (CCO) / 大阪 (おおさか創造千島財団スペース助成/大阪市助成事業) 概要：日本国内外39人のアーティストを招聘し、文化遺産に指定される名村造船所跡地に所在するクリエイティブセンター大阪を会場に企画を実施</p>
<p>(11) 〈アート・プロジェクト〉 Bring Your Own Light (映像上映/アートプロジェクト、キュレーター Ying Kwok / 建築家 Hong Wong 氏と協同実施) 平成31年4月、松翠園大広間、尾道、概要：尾道空き家NPOによって再生された松翠園大広間を会場に、私たちの街のあり方、コミュニティーの場、身体的限界、そして人間の振る舞いの理解に挑戦するためのメディアとして、光の使用を探索した。また、香港と尾道の両都市を結び、アートと建築のクロス・ラーニング・エクスチェンジ・プログラムとして実施した。</p>
<p>(12) 〈展覧会〉 Another Pair of Eyes (展覧会/香港)、令和元年11月-令和2年4月、企画/出品、会場：Duddell's 香港、概要：シンガポール/香港/中国から4人の世界的コレクターのコレクションから作品を選出、自身の作品と共に空間に設置する実験的展覧会を香港の Duddell's にて開催。</p>
<p>(13) 〈アーティスト・トーク〉 会場：1983 (アートスペース)、香港</p>
<p>(14) 〈展覧会〉 「Quoz Arts Fest "CTRL+ALT+ACTION"」 Total Arts Gallery / ドバイ、二点</p>
<p>(15) 〈展覧会〉 [I Say Yesterday, You Hear Tomorrow. Visions from Japan] / Gallerie delle Prigioni / トレヴィーゾ/イタリア、一点</p>
<p>(16) H30 〈展覧会〉 [Motionless-Boundary Vision of Stillness: Art from Japan, Singapore and Taiwan] 大新美術館/台南/台湾、壁面を使用し、写真や平面・立体作品を複数枚組み合わせたたウォール・インスタレーション一点</p>
<p>(17) H30 〈展覧会〉 「ペインターズ」なかた美術館/尾道、複合的インスタレーション二点</p>
<p>(18) H30 〈展覧会〉 「春の庭」なかた美術館/尾道、絵画を含む作品六点</p>
<p>(19) H30 〈レクチャー企画〉 「Dessolving Margin」尾道市立大学E棟201教室/尾道市立大学 主催：稲川研究室 (美術学科准教授) / 共催：小野研究室 (美術学科准教授) / 協力：国際交流センター インスティテュート・オブ・コンテンポラリーアート シンガポール (通称ICA Singapore) 勤務のライターでありキュレーターであるメラニー・ポコック氏を講師に迎え、尾道市立大学構内で行われたレクチャーを主催、当日は司会と通訳を務めた。講義概要：ラサール・カレッジ・オブ・アーツの学芸部門であるインスティテュート・オブ・コンテンポラリーアーツ(ICA) シンガポールによる実験的な展覧会とともに、東南アジアでのエキジビション・メイキングについて学ぶ</p>
<p>(20) H29 〈展覧会〉 〈展覧会〉 「Floating Urban Slime/Sublime」企画発案/ディレクション / アートギャラリー ミヤウチ / 広島、実験的キュレトリアル実践</p>

令和6年度教育研究活動報告書

氏名	稲川 豊	所属	芸術文化学部美術学科
学位	修士 (MA FINE ART)	職位	准教授
専門分野	絵画／コンテンポラリー・アート		

(21) H29 〈展覧会〉〈展覧会〉「dr/op: Beyond Boundaries」, ONLY CONNECT企画・Artist Alliance SGと共催 / Goodman Arts Centre / シンガポール、複合的インスタレーション一点
(22) H28 〈展覧会〉「The Art of Humanity- IMAGO MUNDI - LUCIANO BENETTON COLLECTION」 / Pratt Institute, The Rubelle and Norman Schafler Gallery / ニューヨーク
(23) H27 〈展覧会〉「The Launch Event of the 4th Award Edition」 / Plantation, Sofitel Dubai Jumeirah Beach / ドバイ
(24) 〈展覧会〉「Dogs in a Room」, ONLY CONNECT企画・主催 / 光明寺會館 / 尾道、実験的キュレトリアル実践
(25) 〈展覧会〉「CHEMCRAFT - For Love of Chemistry : Aesthetic Forms and Their Opposites」 -Curated by Christina Mitrentse Projects / Espacio Gallery / ロンドン
(26) 〈展覧会〉「RELATIONAL EXTRAVAGANZA : ARBITRARY DREAMS」, Curated by Christina Mitrentse Projects / Lacey Contemporary / ロンドン
(27) H26 〈展覧会〉「The Standstill of Painting」 / なかた美術館 / 尾道
(28) 〈展覧会/個展〉「OTAK JEPUN Yutaka Inagawa」, curated by Shooshie Sulaiman / 12.1 / クアラルンプール (カタログ)
(29) H25 〈展覧会/個展〉「Slow Life: Generation in Exchanges」 安芸高田市立八千代の丘美術館 / 安芸高田市 / 広島
(30) 〈展覧会〉「ベネトンコレクション企画 : Imago Mundi」 Fondazione Querini Stampalia / ヴェネツィア / イタリア
(31) 〈展覧会〉「Affordable Art Fair NY」 / ニューヨーク (with Tolman Collection)、二点
(32) H24 〈展覧会〉「おももち-expression」 光明寺會館 / 尾道 / 広島、二点
(33) H21 〈展覧会/個展〉「Sensory Cocktails」 Gallery Zandari / ソウル / 韓国 (カタログ)
(34) 〈展覧会/個展〉「Crazytokyo」 Galerie Suty / Coye-la-Forêt / フランス
(35) 〈展覧会〉「Da Saek Da Gam IV- My Story」 Gallery Zandari / ソウル / 韓国
(36) 〈展覧会〉「Barock Plastik」 I-MYU Projects / ロンドン / イギリス
(37) 〈展覧会〉「SH contemporary」 / 上海 (with Zandari gallery)
(38) 〈展覧会〉「Slick Art Fair」, パリ (with Galerie suty)
(39) H20 〈展覧会/個展〉「Nonplace overlay」 Bodhi Gallery / ロンドン / イギリス
(40) 〈展覧会〉「Around The Clock: Yutaka Inagawa and Taek Lim」 I-MYU Projects / ロンドン / イギリス
(41) 〈展覧会〉「Cosmopolis: Yutaka Inagawa and Adam King」 Pippy Houldsworth Gallery / ロンドン / イギリス
(42) 〈展覧会〉「Christmas Exhibition」 The Steps Gallery / ロンドン / イギリス
(43) 〈展覧会〉「2008 Changwon Asia Art Festival: Post Citizen-Finding our way」 Sungsan Arts Halls / Changwon / 韓国 (カタログ)
(44) 〈展覧会〉「20」 Dazed and confused gallery / ロンドン / イギリス
(45) 〈展覧会〉「2008 Changwon Asia Art Festival: Post Citizen-Finding our way」 Sungsan Arts Halls / Changwon / 韓国 (カタログ)
(46) 〈展覧会〉「Bluedot Asia 2008」 Seoul Art Center / ソウル / 韓国
(47) 〈展覧会〉「Next Art Fair」 / シカゴ (with Pippy Houldsworth gallery)
(48) 〈展覧会〉「Pulse NY」 / ニューヨーク (with Pippy Houldsworth gallery)
(49) 〈展覧会〉「Art Elysées」 / フランス (with Galerie Suty)
(50) H19 〈展覧会/個展〉「Yutaka Inagawa Solo Exhibition」 New Art Center / ニューヨーク
(51) 〈展覧会〉「The 8th SHINSAIMDANG Art Festival」 Gangueng Museum / 韓国 (カタログ)

令和6年度教育研究活動報告書

氏名	稲川 豊	所属	芸術文化学部美術学科
学位	修士 (MA FINE ART)	職位	准教授
専門分野	絵画／コンテンポラリー・アート		

IV 社会活動	
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）	
（1）小林和作奨励賞審査員	
講演会	9回
<p>（公開講座・後援会・出前授業に関するもの、その他特記事項があれば記入）</p> <p>令和6年度、以下の口頭発表を行った：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「NNNOS @1983: Palate MIX」 （英語／香港、Art Space 1983にて） 自身が企画・立案・実施した「奇数ソックスとノード / Nurturing Nodes in the Nook of an Odd Sock」の背景にあるキュレーションのコンセプトや展覧会構造について英語で発表を行った。 ・「TALK SESSIONS：存／依／鳴／栄／創／有／酌」 （英語・日本語バイリンガル／展覧会「奇数ソックスとノード」関連イベント） <p>4カ国からの参加アーティストを中心に、「共存」「共依」「共鳴」「共栄」「共創」といったテーマでネットワーク構築の可能性を探るディスカッション形式のトークイベント。以下の日時に登壇した：</p> <p>2024年4月20日（土）10:30-18:00（スピーカー／モデレーター、4セッションに登壇）</p> <p>2024年6月8日（土）15:30-19:00（スピーカー）</p> <p>2024年6月15日（土）10:30-14:00（スピーカー）</p> <p>2024年6月16日（日）13:30-17:00（スピーカー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「岸む音 / 際の上 Murmuring Shores / On the Brink」関連トークセッション （英語・日本語バイリンガル／2024年12月15日） <p>シンガポール人アーティスト3名、日本人アーティスト3名、共同キュレーターと共に登壇。企画者として展覧会のコンセプトや実施プロセスについて発表・共有を行った。</p>	